

---

# 儂く造られしものたち

極楽天

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

儂く造られしものたち

### 【Nコード】

N9412A

### 【作者名】

極楽天

### 【あらすじ】

何のために造られたのか。その理由は分からない。そもそも理由などというものがあるのだろうか。

何のために造られたのか。

その理由は分からない。

そもそも理由などというものがあるのだろうか。

「ここはおかしい」

「もう少し大きくしよう」

「あれを持ってきてくれ」

彼らの声が飛び交う中、わたしは自分の完成を待った。彼らは見た目を重視したが、わたしとしては丈夫さが欲しかった。身体の大きさというのも重要なポイントだ。

大きさが足りないため、すぐに逝ってしまう者。悪意ある者によって破壊されてしまう者。完成にも至らずに途中で放棄されてしまった者。そういう仲間たちは決して少なくない。そんな惨めな最期は御免だった。

だからこそわたしは、立派な身体を欲した。

威厳に満ち溢れ、攻撃するのをためらうような、そんな立派な身体を。

年功がある技術者の彼らなら、それが可能なはず。

わたしは期待に胸を膨らませ、自分の完成を待った。

ある日、みなが寝静まった頃、わたしのもとに見たことがない男がやってきた。どうも男は酔っているらしく、わたしに絡んできた。まだ半分しか完成していなかったわたしは、ただ黙って男をやり過ぎすしかなかった。

「けっ。何だっってこんなものを造りやがるんだ。邪魔でしょうがねえ」

男がわたしの身体を蹴る。ズボツという嫌な音がする。丈夫に造ってもらった身体だったが、それをも上回る勢いで、男はわたしを

蹴ったようだ。酔っているとはいえ、ひどいことをする。わたしは恐怖を感じた。

だが、次の瞬間、その恐怖は倍增する。

男はボソボソと独り言を言いながら、信じられないものを取り出した。

そして、まわりつくような嫌らしい笑みと、取り出したそれをわたしに向ける。

「へへへへ」

酔っているからといって許される所業ではない。これは立派な犯罪だ。

誰かが助けに来てくれるのを待ったが、こんな時間では人は通りそうにない。

何とかしないと。

でも何を？

そんなことを考えているうちに、わたしの身体は溶け始めた。

寒空の中に、一本の湯気が立つ。

まるでそれは、わたしの魂のようだった。

男がかけた液体によって、わたしの身体の一部が破壊されると、それに続くように全身が崩壊を始めた。ズゾゾゾという断末魔がわたしの身体から発せられる。男はその光景を、薄ら笑いを浮かべながら見下ろしている。

「どうだ。人間様の力を思い知ったか」

そう言うと男は、最後に崩れ落ちたわたしの身体を踏み潰した。

そこにはもう以前のわたしの姿はなく、ただ雪の塊があるだけだった。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n9412a/>

---

儂く造られしものたち

2010年12月31日23時04分発行